**大阪大学**

**超域イノベーション博士課程プログラム**

**2025年度　Basicコース履修生選抜試験**

**出願書類**

出願区分はプルダウンより選択してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **受験番号** |  | **出願区分** | **本履修生** |
| **研究科** |  | **専攻** |  |
| **氏　名** |  |

 **提出前チェックリスト**

**すべての項目を確認（チェック欄に記入）してから提出してください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 内容 | チェック |
| １ | 募集要項および「面接審査、グループワーク試験詳細」を熟読した。 |[ ]
| ２ | 本履修生、準履修生による提出書類の内容を確認をした。**本履修生・併願者　様式１～４****準履修生　　　　　　　　様式１のみ** |[ ]
| ３ | 所属専攻名・氏名等の記載に間違いはないか確認した。 |[ ]
| 4 | 記載内容の指定ページ数、指定字数は超過していないか確認し記入した。 |[ ]
| 5 | 記載内容のフォントの大きさを確認した。 |[ ]
| 6 | 様式の変更（説明文の削除等）を行っていないか確認した。 |[ ]
| 7 | 成績証明書は発行日より12か月以内のものであることを確認した。（202４年6月26日以降の発行） |[ ]
| 8 | 必要書類がすべてそろっていることを確認した。 |[ ]
| 9 | 指導教員に推薦書・履修承諾書の提出を依頼した。 |[ ]

# 出願理由書

|  |
| --- |
| 以下の内容について、**1000字以内（11ポイント，2ページ以内）**で記述してください。超域イノベーション博士課程プログラムの本履修生に出願する者（準履修生を併願する者を含む）は、Advancedコースも含め本プログラムに出願する理由を、準履修生に出願する者は、本プログラムのBasicコースに出願する理由を、本プログラムの教育目標や各コースのディプロマポリシーを熟読した上で、研究科および本プログラムでの学修・研究・活動を通してどのように成長し、さらに社会においてどのような人材になりたいかについてのビジョンや希望を踏まえつつ、記述してください。その際、あわせて、Basicコースのアドミッションポリシーを熟読した上で、これまでに特筆すべき社会活動での取り組みなどがあれば、その中で発揮された自分の能力や、活かされた長所や強みを踏まえて、説明してください。なお、本履修生の出願者は、その内容を示す書類等を参考資料として様式４に添付することができます。**（1000字以内，11ポイント，2ページ以内（字数・ページ数の上限厳守、文末にページ数、総字数を記載））** |

上部枠内は編集しないこと

**（ページ数：　　　　ページ、総字数　　　　　字）**

# 研究計画書・研究業績一覧（本履修生・併願のみ）

**研究計画書（本履修生のみ）**

|  |
| --- |
| (1)と(2)の内容について、各500字以内（11ポイント, 2ページ以内）で記述してください。なお、説明は他分野の大学院１年次生でも理解できるような分かりやすいものにしてください。必要であれば図表等を含めてかまいません。現在在籍している研究科での研究テーマについて、修士論文の計画を説明してください。（500字以内）（１）で記述した研究テーマの社会的意義について、説明してください。（500字以内）**（１１ポイント****, 2ページ以内（字数・ページ数の上限厳守、文末にページ数、総字数を記載））** |

上部枠内は編集しないこと

**（ページ数：　　　ページ、総字数　　　　字）**

**研究業績一覧（本履修生のみ）**

|  |
| --- |
| 古いものから順に通し番号を付して記載してください。1. 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）又は商業誌における論文、解説、総説

査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合、採録決定済のものに限ります。著者（受験者名に下線）、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年を記載してください。1. 著書

著者（受験者名に下線）、書名、出版社名、発行場所、巻号、全頁数（分担の場合は担当頁数）、発行年を記載してください。1. 国内外の学会、会議における発表

口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。著者、題名、発表した学会名、場所、月・年を記載してください。1. その他（特許、受賞歴等）

**（11ポイント, 1ページ以内）** |

上部枠内は編集しないこと

**成績証明書（本履修生・併願のみ）**

2025年3月（2024年度末）以前に在籍していた教育機関のうち、直近に在籍していた教育機関での最新の成績証明書またはこれに準ずるもので、教育機関の長が作成したもの（いずれも発行日から12ヶ月以内のものに限る）を提出してください。

その際、成績証明書はスキャン等によりPDFデータへ変換し、この用紙を表紙とした電子データとして提出してください。成績証明書のPDFデータは文字が読み取り可能な画質としてください。

# 参考資料（本履修生・併願のみ）

以下の説明（募集要項の「6. 出願に際して提出する書類」の注11に準拠）を読み、該当する参考資料を、

スキャンするなどした電子データで提出してください。なお、添付する参考資料がない場合には、下記の「□ 参考資料なし」へチェックを記入し、この用紙を提出してください。

日本語を母語としない者にあっては、日本語の能力を示すことができる日本語の検定試験のスコア・成績を記

してください。なお、そのスコア・成績を示す資料のコピーを、スキャンするなどした電子データで提出してください。（日本語を母語としない者は、本項目に関する資料の添付は必須です。）

[ ] 　参考資料なし

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

出願書類として、社会活動、学業や研究活動などの諸活動についての下記のような資料（複数可）を提出することができます。

* 諸活動の成果物。社会活動であれば既存の報告書等（応募者自身が執筆したものを含む。写しの提出も可）。

研究活動であれば、学術雑誌もしくは国際会議のプロシーディングに掲載された論文等（掲載予定のものも可）。ただし、卒業論文あるいはそれに類するものを除く。

* 諸活動の関係者による推薦書。様式は任意であるが、推薦者が厳封したものに限る。指導教員である者が指導教員以外の立場で作成する推薦書は本様式の参考資料として提出することができます。
* 新聞や雑誌等での当該活動に関連する記事のコピー。
* 特筆すべき資格や受賞歴、外国語運用能力を示す検定試験のスコアなどについて、これらを証明する書類のコピー。
* 外国語運用能力を示す書類は下記のA〜Bを参照のこと。
1. 英語を含む運用可能な外国語（日本語を母語としない者にあっては日本語を含む）の能力について、それを示すことができるような、国際会議等での発表、外国語での論文等の執筆、その他の実績（留学経験、学部での外国語科目の成績等）を記してください。なお、その実績が分かる資料があれば、スキャンするなどした電子データを提出してください。
2. 外国語の検定試験を受験したことがあり、そのスコア・成績を示すことができる場合は、検定試験の名称とスコ

ア・成績を記してください。なお、そのスコア・成績を示す資料のコピーを、スキャンするなどした電子データで提出してください。